

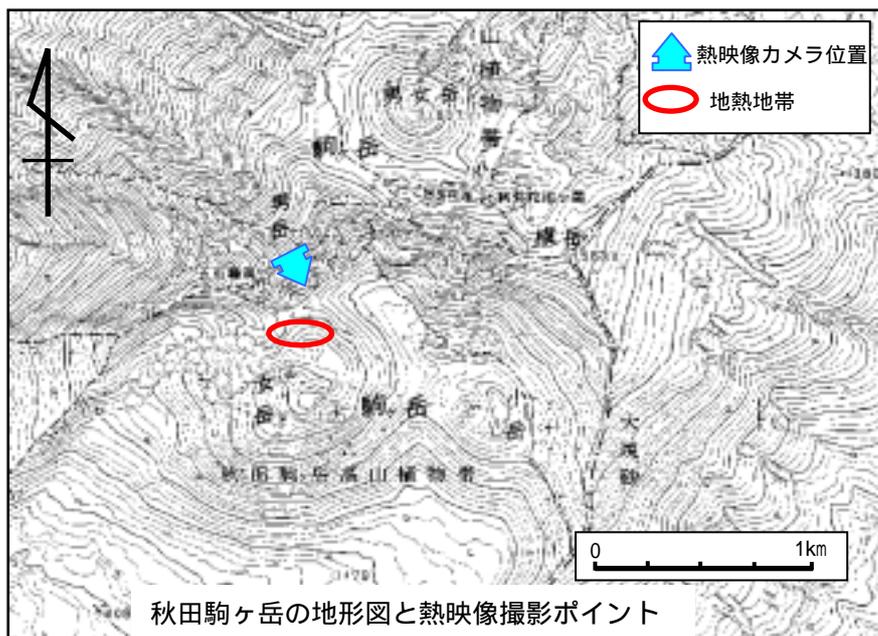
秋田駒ヶ岳

概況

6月11日より、調査観測を開始しました。
 現地観測によれば表面現象等、特に変化はみられませんでした。

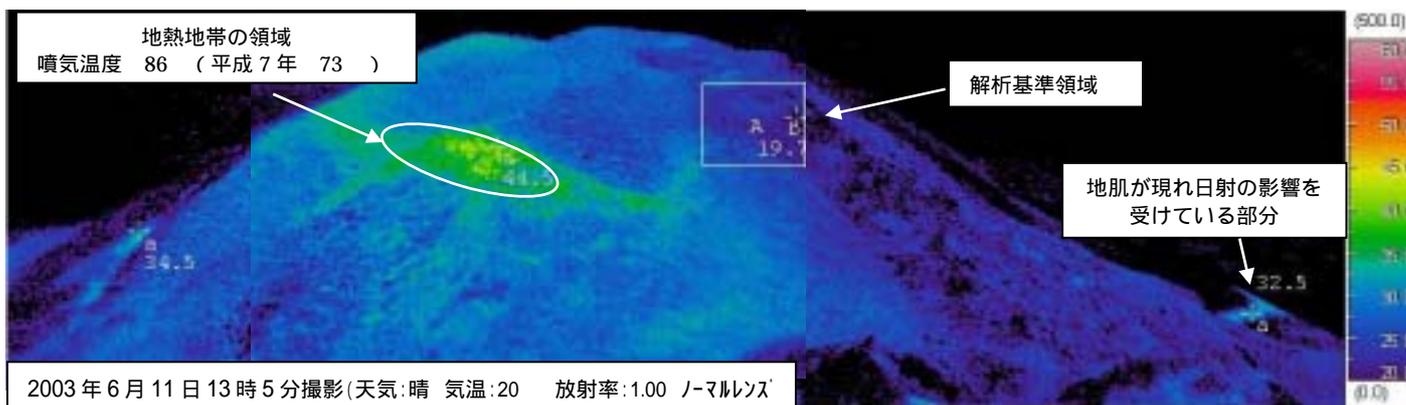
秋田駒ヶ岳火山現地観測結果

11日、秋田駒ヶ岳の女岳(1970年噴火)山頂部を中心に赤外熱映像、噴気温度及び火山ガス観測を実施しました。赤外熱映像の解析結果、地熱地帯は女岳山頂北部の「新噴気地帯」にだけ見られます。ここは1970年の噴火直前から地熱の高い場所で噴気も時折観測されています。前回(平成7年火山機動観測)の赤外熱映像解析結果と比較すると地熱地帯の領域は広がっていません。また、噴気温度・火山ガス成分の観測結果からも大きな変化はみられません。



	現地観測結果の比較(女岳山頂)	
	今回	平成7年9月
天気・気温	晴・18	雨・11
噴気温度	86	73
火山ガス	H2S -	H2S -
	SO2 -	SO2 -
	CO2 4.0%	CO2 3.6%

秋田駒ヶ岳現地観測データの比較



秋田駒ヶ岳の可視画像(上)と赤外熱映像画像(下)(男岳山頂より撮影)